

会 議 概 要

会議の名称	令和3年度第1回社会教育委員会議
開催日時	令和3年4月28日(水) 15時00分 開会 17時00分 閉会
開催場所	湧別町文化センター さざ波 中会議室
出席者名	山本副委員長、梅田委員、渡辺委員、鈴木委員、工藤委員、三橋委員、菅委員、毛利委員 8名 教委～教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、渡辺主査、土佐主査、高橋主査、北村主査、鈴木主事
欠席者名	深谷委員長、平野委員、安瀬委員、武藤委員、杉原委員、村田委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	1. 開 会 2. 教育長あいさつ 3. 議 事 議案第1号 委員長及び副委員長の選出について 議案第2号 令和3年度社会教育推進計画(単年度計画)について 4. その他 5. 委員長あいさつ・閉会
会議資料	令和3年度第1回社会教育委員会議案
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記) <input type="checkbox"/> 無
備考	

てん末書

1 日 時

令和3年4月28日(水) 15時00分～17時00分

2 会 場

湧別町文化センターさざ波 中会議室

3 会議及び用務

第1回社会教育委員会議

4 出席者

社会教育委員～梅田、山本、毛利、渡辺、鈴木、工藤、三橋、菅 各委員
欠席～深谷前副委員長、平野、安瀬、武藤、杉原、村田 各委員
教委～阿部教育長、坂本課長、中島参事、藤本主幹、渡辺主査
土佐主査、高橋主査、北村主査、鈴木主事

5 結果要旨

○感謝状贈呈について

- ・開会前に退任される各委員へ感謝状の贈呈を行った。

退任される委員：宮澤委員長、佐藤、多田 各委員（3名）

※欠席された石垣委員については、4月30日にさざ波にて贈呈を行う。

○委嘱状の交付について

- ・今回新たに委員になる方へ委嘱状の交付を行った。

新委員：山本、毛利、渡辺、鈴木、工藤、三橋、菅 各委員（7名）

1. 開 会

2. 教育長あいさつ・委員自己紹介

3. 議 事 （委員長が選出されるまで阿部教育長による進行）

○議案第1号 委員長及び副委員長の選出について

- ・委員長、副委員長については互選により選出するとし、各委員へ意見を伺い選出を行った。

（梅田委員）：経験者から選出するのが望ましいと考える。深谷前副委

員長は、副委員長として経験も豊富であることから、委員長へ推薦する。また、副委員長については、同じく経験豊富である平野委員を推薦する。

(坂本課長) : 今回欠席している深谷前副委員長、平野委員については欠席の連絡と併せて、個人の事情により委員長、副委員長をできないとの話を承っている。

(山本委員) : 社会教育委員に長く携わっている梅田委員を委員長にどうでしょうか。

(梅田委員) : 個人的に事情があり、難しい。

(教 育 長) : 一度前副委員長へ会議の状況と再度意向の確認を行わせていただく。

深谷前副委員長より、今回委員長を務めていただくということで承諾を得た。

(毛利委員) : 副委員長について、山本委員はどうでしょうか。

⇒副委員長について、互選により山本重幸氏に務めていただくことで承諾を得た。

⇒委員長【深谷 聡】、副委員長【山本 重幸】

○議案第2号 令和3年度社会教育推進計画（単年度計画）について

・議案にもとづき事務局より説明

以下質疑応答)

(梅田委員) : 体験塾について、人数がすごく増えているが何か要因はあるか。また、地区による偏りなどあるか。

(渡辺主査) : 昨年より活動していた塾生の声掛け、チャレンジスポーツの対象が小学生1年～4年生までだったところ、今年から小学3年生までとなり、小学4年生が体験塾に参加してくれていることが要因である。地区の偏りについては、芭露地区の参加者がいなく、湧別地区の参加者が多い。交通手段がない事を理由に参加できないという事がないよう調整したい。

(工藤委員) : 事業計画にミュージカル体験事業の記載がないのはなぜか。

(土佐主査) : 助成金を活用しながら10年間続けていたが、10年を一区切りとし終了としている。主な理由として金額の面から活用できる助成金がないこと、参加者の固定化、参加人数の減少などがあげられる。現在、別事業として子どもアート体験事業というものを計画しており、また違うで

子供たちに体験の機会を与えられればと考えている。

4. その他

○令和3年度社会教育委員各種研修会等について

- ・開催未定のものもあるが、決まり次第案内を送付する旨説明。

○湧く湧く「社会教育委員さんのある一日」記事寄稿の順番について

- ・生涯学習情報湧く湧く「社会教育委員さんのある一日」のコーナーについて、毎月、月の初めに記事の寄稿依頼をする旨説明。

5. 閉 会 終了 17時00分



令和3年度

湧別町の社会教育(案)

推進計画の概要

人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる



五鹿山マラソン (R2. 10. 4 於:五鹿山スキー場)

はじめに

新型コロナウイルス感染症の発生から既に1年以上が経過しました。この間、医療、経済、福祉、そして教育など社会活動は多大な影響を受け、町の社会教育の分野においても、町の一大イベントであるサロマ湖100kmウルトラマラソンが2年連続で中止となるなど、多くの事業で中止や延期を余儀なくされました。

長期間におよぶ自粛生活は経済活動の停滞のみならず、人々の精神面にも大きな影響を与え、不安を抱えたままの生活を送らざるをえなかったことと思います。

そのような情勢の中、ついに待望のワクチンが開発され、順次接種が始まりました。一刻も早く社会活動が平常化することを期待しておりますが、収束までにはまだまだ時間がかかるものと考えております。

様々な活動の自粛により、生涯学習をはじめとする地域活動の機会や、人と人とが直接顔を合わせる多くの機会が失われましたが、工夫して実りある社会教育活動の構築を目指していきたいと考えております。

本町の社会教育に係る施策も、「人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる」をテーマとした第2次湧別町社会教育中期計画が実行4年目を迎えています。

中期計画に基づき、人々が生涯を通じて健康で生きがいをもって暮らすための学習ニーズに応えるため、感染症対策を徹底しながら、ウィズ・コロナ時代に対応した社会教育事業を提供し、豊かな人間性を育むにふさわしい環境となるよう、それぞれの分野における取り組みを進めます。

今後とも、関係各位のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年4月

湧別町教育委員会教育長 阿部 勉

湧別町社会教育の重点

湧別町社会教育目標（平成25年3月策定）

自ら学び、地域にいかせる人を支える

他人を思いやる、あたたかく豊かな心の人を支える

人と人とのつながりを深める人を支える

健やかな心と体をめざす人を支える

ふるさとを知り、愛する人を支える

湧別町社会教育5ヶ年のテーマ（平成30年～令和4年）

人、自然、ふるさとから学び、地域と共に生きる

令和3年度 湧別町社会教育推進計画

新型コロナウイルスの影響と対策	1
家庭教育	2
少年教育	3
青年教育	4
成人教育	5
高齢者教育	6
芸術・文化活動と文化施設整備	7
図書館活動	8
文化財保護活動・博物館活動	9
スポーツ活動とスポーツ施設整備	10
生涯学習の基盤整備と	
社会教育施設整備	11
令和3年度社会教育事業計画	12
資料	23

新型コロナウイルスの影響と対策

1. 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策が長期化する中で、まん延防止と社会経済活動との両立を図るため、日常の行動変容を促す「新しい生活様式」が提案されるなど、国や道においてもさまざまな対処方針が示されています。また、これらの動きにあわせて社会経済活動の情勢も大きく、急激に、目まぐるしく変化を続けています。

社会教育の分野においても、今後の感染拡大防止対策は、これらの方針に従い進めることが求められます。

これを踏まえて、本年度の社会教育推進計画の策定および計画に基づいた事業の展開にあたっては、下記の対策に示すように長期的な視野に立って段階的な緩和措置をとりながら慎重に進めるものとします。

2. 感染拡大防止のための対策

国の緊急事態宣言が解除され、すべての活動を自粛する段階から、必要な対策を講じたうえで段階的に制限を解除していくため、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」およびこれに基づき各関係団体から業種別の感染拡大予防ガイドラインが示されました。このうち、「公民館」、「劇場、音楽堂等」、「スポーツイベント」、「社会体育施設」、「図書館」、「博物館」におけるガイドラインが社会教育関連として該当します。

町の社会教育施設の開館および社会教育事業の開催については、国および道の方針や上記のガイドライン等を参考に必要な対策を講じたうえで、社会基盤としての役割を継続的に果たし、町民の学習機会を維持するため慎重に進める必要があります。

社会教育施設の開館にあたっては、施設管理者が講じる対策と、施設利用者をお願いする事項を定め、感染防止策の徹底を行います。

また、社会教育事業の再開にあたっては、規模や対象、3密状況の程度など、事業の特徴を個別に踏まえたうえで、原則として施設利用に必要な対応を十分に満たす対策を講じたうえで開催します。なお、具体的に十分な対策を講ずることが不可能な場合や、対策を講じることで事業本来の効果が完全に失われたり、事業が成立しない場合には中止または延期の判断をとる場合があります。この判断をする際には、近隣町村や関係機関等における類似事業の開催状況も参考にするとともに、行政が実施主体となって事業を行う場合には、他の実施主体が行う事業の可否判断に与える影響も考慮する必要があります。

あわせて、今後において社会情勢が変化し、自粛の強化や対策レベルの引き上げなどがあるれば、事業の中止や延期の事態も十分考えられることから、あらかじめ代金の払い戻しや補償等の金銭面における対応について整理しておくことも、開催にあたっての必須条件となります。

家庭教育

<推進目標>

子どもは町の宝

手を取り合い、支え合って育てよう

現状と課題

- ◆家庭教育はすべての教育の原点であり、出発点でもあります。子どもにとって「家庭」は、家族から愛され、かけがえのない存在であることを実感し「生きる力」を養う場であるとともに、社会生活での必要なマナー等を身につける場でもあります。
- ◇家庭教育支援の大切さを地域全体で理解するために、広く周知する必要があります。家庭教育に関わる様々な関係機関との連携を強化する必要があります。

推進項目

学習機会の提供

- ・家庭教育への理解を深める研修事業を充実する。
- ・家庭教育を担う保護者が必要とする情報を発信する（情報誌やインターネットなど各種メディアの活用）。
- ・家庭教育事業の実施場所を対象者の集う場所にあわせて設定する方法を検討する。

活動等の支援

- ・子育てサークル等の育成と支援を充実する。

学習環境づくり

- ・子育ての悩みや喜びをわかちあえる気軽に集う場（サロン）の創設について検討する。

連携・ネットワーク

- ・子どもの育ちを支えるネットワークの構築に向けた検討を行う。
- ・家庭教育を担う保護者の発言が反映されるメディア（＝情報媒体）の構築を検討する。
- ・子育て支援センターや図書館など、各種関係機関・団体との協力体制をつくり、連携を図る。

少年教育

<推進目標>

少年は町の未来

夢に向かって力をつけよう

現状と課題

- ◆オンラインの普及により、友達同士で外に遊びに行く機会は減少しており、顔を合せてのコミュニケーションが気薄になっています。
- ◇自然体験や異世代間交流、仲間づくり等の様々な体験活動の提供を求められています。また、次世代を担うリーダー、指導者の養成のため、小学生から高校生・青年まで連携した事業の展開が必要です。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・地域の特性を生かした「湧ゆう湧くわく体験塾」等、数多くの体験活動の機会を提供し、豊かな人間性の養成を図る。
- ・年に一度は町内の子ども全員が集まる機会を提供し、充実を図る。

活動等の支援

- ・子ども会や青少年指導センターを支援。
- ・異世代や異年齢との交流機会の拡充により、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、地域教育力の向上を図る。

学習環境づくり

- ・小学生や中学生のリーダー養成と活用を図る。
- ・地域の成人指導者の活用を図る。
- ・小学生～中学生～高校生～青年が連携できるよう、青年層からボランティアを積極的に受け入れ、次世代につながる指導者の養成を図る。

連携・ネットワーク

- ・より学習効果が得られるよう学校と社会教育が連携・融合した事業を推進する。
- ・児童センターをはじめ関係機関との連携を図る。
- ・学校の求めに応じ、コミュニティスクールに社会教育が積極的に参加協力を行う。

青年教育

<推進目標>

青年は町の原動力

自らを磨き高めよう

現状と課題

◆近年、ボランティア等の社会貢献活動への参加意識は高まっていますが、依然として参加を敬遠する青年がいるのも事実です。青年組織と連携を図りながら、同じ地域に住む様々な職業・立場を生きる青年が交流できる機会の提供が求められています。

◇青年同士の仲間づくりや集う場の提供が必要であります。青年が気軽に意見を言える機会を設け、活動に積極的に関わる人材の発掘・育成が必要です。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・各種研修会等の情報を提供し参加を奨励する。
- ・成人式を開催し、新成人の社会人としての意識の高揚を図る。
- ・高校生の社会参加活動を奨励・支援する。

活動等の支援

- ・青年団体協議会が行う自主活動を支援し、広く周知に努める。

学習環境づくり

- ・各青年組織のリーダーが集い、学習する機会と組織化を検討する。(まちづくり青年会議)
- ・若い女性の社会参加を図る。
- ・団体リーダーの養成と活用を図る。
- ・地域活動への参加に向けて意見交換の機会をつくる。

連携・ネットワーク

- ・各青年組織の交流を奨励し、連携・ネットワーク化を促進する。

成人教育

<推進目標>

成人は町の大黒柱

すすんで地域に関わろう

現状と課題

◆成人期は、職場や家庭、地域において、中心的な役割を担い社会に貢献することを期待されている時期ですが、毎日が忙しく参加の意欲がありながら難しい状況にあります。まちづくりの中心的担い手として、積極的に企画・運営に関わることが求められます。

◇時間的余裕のない成人期のニーズに応えられる学習機会を創り出す必要があります。湧別町の歴史、産業、自然等を学ぶ機会を提供する必要があります。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・幅広い学習ニーズに応える学習機会の提供と学習意欲を喚起する。
- ・ふるさとを学ぶ機会の充実を図る。
- ・既存事業（町民大学等）の魅力を広く伝える。
- ・地域に関する学習機会を提供する。

活動等の支援

- ・社会教育各種団体等へ支援を図る。
- ・おたがいの仕事や暮らしぶりを知り、地域を知ることにつながる学習活動を支援する。
- ・自主的に企画し実践するサークルなどの活動支援を充実する。
- ・事業を反省評価し、次へ生かす取り組みを支援する。

学習環境づくり

- ・行政と住民の協働事業を推進する。
- ・参加者に開会日時や託児サービスなどを配慮した事業を行う。
- ・気軽に参加し、すすんで活動できるよう情報の提供に努める。

連携・ネットワーク

- ・各種団体間の交流を促進する。
- ・関係機関との連携を図る。

高齢者教育

<推進目標>

高齢者は町の知恵袋

豊かな経験を地域で生かそう

現状と課題

- ◆湧別町の65歳以上の人口は、全体の約39%（令和3年3月末）を占めており、地域の教育力を高めるため、まちづくりにおける高齢者の果たすべき役割はより大きくなっています。
- ◇高齢者が持つ知識や経験、技能を地域や次世代に伝える機会を提供し、生きがいを持てるようにする必要があります。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・高齢者の興味関心を呼び起こす事業や、知識や知恵をもった高齢者から学ぶ機会、ふるさとを伝える機会の創設に向けた取り組みを検討する。

活動等の支援

- ・高齢者大学の参加者による自主活動の促進と充実を図る。
- ・次の世代に伝承する異世代間交流事業を充実する。

学習環境づくり

- ・知識や知恵を持つ高齢者を把握し、活かすようコーディネートを実施する
- ・長寿社会を生きるそれぞれの年齢に応じた学習ニーズを把握する。
- ・少人数でも気軽に参加しやすい環境づくりに努める。

連携・ネットワーク

- ・高齢者大学と他団体との連携を図る。
- ・高齢者の豊かな経験を活かすために関係機関との連携を図る。

芸術・文化活動と 文化施設整備

<推進目標>

芸術・文化は未来を生きるヒント
創造力と豊かな心を育てよう

現状と課題

- ◆心の糧となる芸術・文化活動は、一般はもとより、これからの担う青少年の創造的な能力を伸ばす為にも、大きな役割を果たすものとして充実が望まれています。
- ◇鑑賞と創造が両輪となった芸術・文化活動を推進する為にも、文化センターの計画的な設備の更新をし、芸術文化にふれる機会を提供することが重要です。

推進項目

課題解決の方策

学習機会の提供

- ・町民ニーズをふまえた上で、質の高い芸術文化作品の鑑賞機会の提供に努めます。
- ・青少年が芸術文化に触れる機会の提供に努めます。
- ・カルチャー教室、各種体験事業、ワークショップなどの実施により、芸術・文化に親しむ機会の提供に努めます。

活動等の支援

- ・文化連盟を始め、各種文化団体の活動を支援します。
- ・芸術文化奨励事業補助等制度の活用促進に努めます。
- ・学習の成果を活かす場として、町民ギャラリーや総合文化祭等の活用を努めます。

学習環境づくり

- ・芸術・文化事業の情報提供に努めます。
- ・さざ波・TOM両文化センターの特徴を活かした有効活用を努めます。
- ・文化センターの計画的な設備の更新に努めます。

連携・ネットワーク

- ・道や他市町村、北海道文化財団等の関係機関との連携を図ります。
- ・文化連盟、芸術鑑賞団体、各種文化団体と連携し、芸術文化の振興に努めます。

図書館活動

<推進目標>

図書館は町民の憩いの場

みんなで学び楽しもう

現状と課題

◆現在、私たちの社会は生活を彩る様々な情報と、その情報を扱う様々なメディアにあふれて、あらゆる世代の「読書離れ」が危惧される状況です。このような社会環境だからこそ、幼少期から心を育てる環境整備が急務といえます。

◇あらためて読書の重要性が見直され、読書活動を支える社会基盤として「図書館が果たす役割」は、ますます高まってきています。

推進項目

課題解決の方策

図書館資料の収集、 整理保存

- ・町民の読書傾向をふまえ、中湧別図書館と湧別図書館を特徴付けた選書を行い、新鮮な図書購入に努めます。
- ・両館並びに移動図書館車の蔵書構成を区分し維持管理に努めます。

利用促進、 読書機会の提供

- ・湧別、中湧別2館それぞれが持つ特徴を活かした展示やイベントを行います。
- ・気軽に集える読書環境を整備します。
- ・来館の難しい町民に向けての読書環境を整備します。

地域社会との 交流・団体活動

- ・適切な移動図書館車運行を実施し、町内全域に向けて読書活動を推進します。
- ・町内施設・団体を窓口にも、図書館資料を活用した読書活動を推進します。

連携・ネットワーク

- ・学校をはじめとする教育施設や保育・福祉施設との連携を図ります。
- ・「子どもの読書活動推進計画」により、子どもたちの読書環境を整備します。
- ・図書館ボランティアとの連携強化に努めます。
- ・ネットワークを活用した図書館間の連携を図ります。

文化財保護活動 博物館活動

<推進目標>

地域の文化財の保護・保存環境の整備
～ふるさとの豊かな財産を活かそう～

現状と課題

◆埋蔵文化財包蔵地は 56 か所あります。郷土館では湧別地区のあゆみを展示しており、ボランティアからは教育普及活動で協力を得ています。ふるさと館 J R Y では湧別屯田開拓と上湧別地区のあゆみを展示し、教育普及活動では開拓期の衣食住体験などを行っています。

◇文化財保護活動・博物館活動の基本は文化財と博物館資料の保存にあり、これらを将来へと確実に継承する保護計画を立案実行することが最大の課題と考えます。

埋蔵文化財は開発行為による破壊を防がなくてはなりません。また保護を進めると同時に、調査研究を進め教育普及活動などで活用し、存在を広く知ってもらうことも重要です。特にシブノツナイ堅穴住居群の調査を継続し保護環境を整えることは町の責務です。

博物館資料については、博物館・収蔵庫で安定的に保存できる環境を整備しなければなりません。保護・保存に加えて、文化財や博物館資料を町民に広く知ってもらい、その存在意義を考えてもらう機会を提供していくことも重要です。

推進項目

課題解決の方策

文化財の保護・資料収集 調査研究

- ・埋蔵文化財の保存環境の整備に努めます。
- ・シブノツナイ堅穴住居群の発掘調査を継続的にすすめてまいります。
- ・石器、土器類の分類整理をすすめ、湧別地区の先史文化の調査研究を行います。
- ・資料の整理分類をすすめて、データベース・目録等の作成を行い情報公開に努めます。
- ・調査研究の成果を展示・教育普及活動へ活用します。
- ・安定的に資料の保存が可能な収蔵庫の建設を検討します。

博物館展示

- ・先史の展示の充実に努めます。
- ・子供たちに理解しやすい展示づくりを行います。
- ・収蔵展示を行い展示資料の充実に努めます。

博物館教育普及

- ・文化財を知る機会の提供に努めます。
- ・先史・開拓について知る体験学習を拡充します。
- ・学校利用の促進に努めます。
- ・出張学習の内容充実に努めます。
- ・学芸員の専門性・教育力を高める機会を拡充します。
- ・広報を活用し、博物館活動の周知に努めます。

スポーツ活動と スポーツ施設整備

<推進目標>

明日の元気は、きょうのスポーツから
みんなで体を動かし楽しもう

現状と課題

- ◆町民の健康や体力づくりに対する関心の高まりに伴い、スポーツニーズが多様化している一方、少子高齢化によりスポーツ団体の会員不足や子ども達の体力の低下・スポーツ離れ、生活習慣病、指導者不足など多くの課題を抱えているのが現状です。
- ◇各年齢や体力に応じた運動習慣が形成されるよう、だれもがいつでもスポーツに親しむ機会提供と普及、施設の適切な管理運営、指導者の発掘・養成や体育協会・スポーツ少年団などの関係団体の支援体制の充実に努める必要があります。

推進項目

課題解決の方策

生涯スポーツの普及

- ・ライフステージに応じた各種教室、講習会、大会などスポーツに親しむ機会を提供し、健康や体力づくりの増進と住民相互の交流の推進に努めます。
- ・スポーツ合宿による教室や講習会、町民とのふれあいや交流の機会の充実に努めます。

活動等の支援

- ・体育協会やスポーツ少年団など関係団体の育成と自主的な活動支援に努めます。
- ・スポーツ用具を整備することにより、スポーツを始めたい方の支援に努めます。
- ・スポーツ推進委員等によるニュースポーツの研究・普及を図り、町民の健康増進に貢献します。
- ・「するスポーツ」に加え、「支えるスポーツ」として大会等の支援を行うボランティアの確保に努めます。

学習環境づくり

- ・著名な外部講師等の招聘により、技術向上の習得に努めます。
- ・スポーツインストラクター等による個々の体力に応じた運動メニューの作成を推進します。

連携・ネットワーク

- ・住民のニーズを踏まえながら利用しやすいスポーツ施設の計画的な改修等と適正な管理運営、利用実態に即した開館を目指します。
- ・健康福祉分野との連携を図り、運動やスポーツを取り入れた町民の健康づくり教室の開催に努めます。
- ・体育協会やスポーツ少年団、自治会、関係団体等の連携を図り、町民みんなで楽しめる生涯スポーツの推進に努めます。

生涯学習の基盤整備と 社会教育施設整備

<推進目標>

生涯学習の基盤整備は社会教育のかなめ
いつでも、どこでも、だれでも
参加し楽しもう

現状と課題

- ◆社会の急速な変化に伴い、町民の学習ニーズも多様化・高度化し専門的になってきています。
- ◇個々のライフスタイルに応じた学習機会の提供を図り、その成果が適切に評価され社会の中で活かすことができる学習環境の基盤整備に努める必要があります。

推進項目

学習推進体制整備

- ・住民の様々な学習活動がより効果的になるよう関係機関や団体との連携強化に努めます。
- ・総合的に生涯学習を推進するための体制整備に努めます。

施設整備・活用・連携

- ・芭露ファミリースポーツセンターの整備について利用状況とかかる経費を踏まえ、長期的視点から方向性を提案します。
- ・施設間の連携により、学習効果の向上に努めます。

学習情報の収集提供・ 相談体制の充実

- ・住民の学習活動を支援するため、生涯学習情報の収集・提供に努めます。
- ・多様化する学習ニーズに応じ、住民の学習活動が円滑に行われるよう相談体制の充実に努めます。

指導者の養成・活用 団体活動支援

- ・住民の多種多様な学習ニーズに対応するため、様々な分野から指導者を発掘、養成し、人材の活用に努めます。
- ・生涯学習振興奨励事業補助金活用により、サークル等が自主的に学習活動を行う支援に努めます。
- ・ボランティアを育成するとともに、活動の支援に努めます。

連携・ネットワーク

- ・社会教育委員、スポーツ推進委員、図書館協議会委員、各団体、町各部局、地域、学校との連携強化とネットワーク化を図り、生涯学習活動の推進に努めます。
- ・生涯学習に関する情報を収集、データベース化し、ホームページ等での情報提供に努めます。

令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
基 盤 整 備	生涯学習情報の収集・提供・相談体制の充実	年間	—	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「湧く湧く」の発行（毎月） ・遠軽地区情報紙「なな・なんと情報」の発行（2カ月に1回）（佐呂間町が当番町） ・町ホームページによる情報の体系的整理と提供 ・動画による事業記録を収集し活用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整備に努める。	「湧く湧く」 印刷費 1,188千円	10-1 10-3
	指導者の発掘・養成・活用	年間	—	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、様々な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	—	10-4
	団体活動の支援・育成	年間	—	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に行われるよう支援を行う。	—	10-4
	生涯学習振興奨励事業	年間	—	（生涯学習住民活動推進事業） グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会などの学習活動に対して助成を行う。（補助率75%、ただし極めて公益性が高い場合は100%）	3件程度 300千円	10-4
	施設の整備・運営・連携	年間	—	公共施設再配置計画など上位計画との整合を図りながら、施設の計画的な補修や整備を行うとともに事業連携・施設間連携により学習効果の向上を図る。	別紙施設整備計画 のとおり	10-2 10-5
家 庭 教 育	家庭教育研修会	12/12 （日）	文化センター TOM	家庭教育が困難な現状の共通理解と家庭教育の重要性を啓発するための研修会。健康こども課と連携し、ニーズの把握に努め定着を図る。PTA連合会へ後援依頼予定。	講師謝礼 100千円 需用費8千円	1-1
	健康こども課との事業協力	年間	—	健康こども課との打合せ会議を開催し、子育て支援センター、子育て世代包括支援センターとの協力体制の充実を図る。	—	1-3 1-4
	家庭教育相談	年間	相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身近に相談する機会を提供する。	—	1-2
少 年 教 育	児童宿泊研修会	6/17(木) ～18(金)	ネパール 北見	社会性を培う機会として、全小学校5年生合同で、体験活動を実施。担当教職員の事前打合せと反省会も行い、目的や役割分担の共通理解やノウハウの蓄積を図る。	参加費57千円 （2,500円×1/2 ×45人） バス借上料49千円	2-1 2-4
	子ども会の育成・援助	年間	—	青少年指導センターの活動支援とあわせ、単位子ども会や湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言する。	補助金 250千円	2-2
	第1回子ども会 リーダー研修会 （仮）	7/28(水) ～29(木)	五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導セン ター会計から支出	2-1 2-2 2-3
	第2回子ども会 リーダー研修会 （仮）	3/29(火) ～30(水)	紋別市生 涯学習セン ター			
	百人一首教室 （仮）	11月～1月 毎週土曜日	農村セン ター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。大会は実行委と教委との共催。小1～大人まで対象。	報償費24千円 需用費43千円	2-1 2-3
第53回新春交歓 カルタ大会	R4.1/23 （日）					
	湧うゆう湧くわく 体験塾	年間 （月2回程 度）	町内ほか	小学校4～6年を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。	報償費35千円 需用費20千円	2-1 2-2 2-4

令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
少年教育	湧別町・新篠津村 友好都市少年交流 事業	8/3(火) ～5(木)	新篠津村 (派遣 年)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。小学校5～6年およびリーダーとして、中・高校生も参加。小学生は参加経費の半額、リーダーは全額町負担。	報償費90千円 需用費10千円 借上料395千円	2-1 2-2 2-4
青年教育	青年団体の 育成・援助	年間	青年会館 ほか	子どもを対象とした冬季事業、屯田七夕まつりでの出店など、伝統を受け継ぐ青年団体協議会を支援する。	補助金 160千円	3-1 3-2 3-3 3-4
	【令和2年度から延期】 令和3年成人式	R3.5/2 (日)	文化セン ターさざ 波	新成人を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。成年年齢引き下げ(R4)後も20歳を対象とする見込。 ※軽食ボランティアとの協働 ※現小学6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費623千円 需用費41千円	3-1
令和4年成人式	R4.1/9 (日)					
成人教育	第45回 湧別町民大学	9月～11月 全5回	文化セン ターTOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンル講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。	運営費助成 2,000千円	4-1 4-2 4-3 4-4
	第11回ふるさと 講座	10/2(土) (仮)	未定	町の人を講師に、地域の価値を学び共感する機会提供のための座学講座。郷土学サークル「ふるさとから学ぶ会」との共催で行う。今回のテーマは「湧別川」(仮)	講師謝礼 20千円	
	第9回我がまち湧 別町のお宝をたず ねる旅	5/22(土)	五鹿山公 園	普段見落としがちな町の価値(=お宝)を、それに詳しい講師の案内によってバスツアー形式でたずね歩き価値を共有する。昨年中止となった「五鹿山」の魅力を手感する企画	講師謝礼10千円 借上料55千円	
	PTA団体への 援助	年間	—	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円	
	ボランティア団体 との連携	年間	文化セン ターさざ 波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—	
高齢者教育	チューリップ生き がい大学の開設	月1回 程度	文化セン ターTOM・ さざ波ほ か	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費236千円 需用費36千円 印刷製本83千円 借上料680千円	5-1 5-2 5-3 5-4
	世代間交流事業・ 社会活動参加奨励	年間	学校ほか	学校からの求めに応じ、小中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—	

令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
芸 術 ・ 文 化 活 動 の 振 興	文化団体の育成援助	年間	—	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円	6-2 6-4
	鑑賞機会提供団体の育成援助	年間	各文化センター	A.良いもの見よう聞こう会の活動支援 B.企画委員会ビッグ・ウェーブの活動支援 C.その他実行委員会等への活動支援	補助金 10,000千円	6-1 6-2 6-4
	幼児芸術鑑賞会	7/6(火) 7/7(水)	文化センター・児童センター	幼児対象(2日2公演) 公演内容「食べられたやまんぼ(人形劇ほか)」 新芸能集団「乱拍子」	公演料 500千円	6-1
	児童芸術鑑賞会	9/7(火)	文化センターさざ波	小学生全学年対象(1公演) 公演内容「海底2万マイル」劇団ポプラ ※町内小学校5～6年生の紋別市鑑賞会の参加なし。次回参加年度は令和4年度以降。	公演料 500千円	6-1
	中学生芸術鑑賞会	10/6(水)	文化センターさざ波	中学生全学年対象(1公演) 公演内容「真夏の夜の夢」(株)笑う猫文化事業局	公演料 500千円	6-1
	子どもアート体験事業	未定	未定	国内外で活躍するアーティストが学校や文化施設に出向き、子ども達と一緒にワークショップや創作活動を行い交流する事業。講師：神田山陽氏	—	6-1
	文化芸術作品展示会等の奨励	年間	文化センター	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—	6-2 6-3 6-4
	カルチャー教室	年間	町内施設	子どもから大人までを対象に趣味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 80千円	6-1
大 会 の 開 催 等	第36回サロマ湖100kmウルトラマラソン【中止】	6/27(日)	湧別総合体育館裏	100kmスタート午前5時00分(100kmの部) 総合体育館裏(東道路上) ※スマートフォン用のランニングアプリを活用した代替大会を実施。	負担金3,000千円	
	湧別町少年柔道大会「上野カップ2021」	10/9(土) ～10(日)	湧別総合体育館・武道館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 700千円 歳出総額 3,410千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	町民体カテスト	11月	文化センターさざ波	町民に対してスポーツや運動を継続して続けることの大切さや健康づくりを高めるきっかけづくりを図る。	スポーツ推進委員 報酬16千円	
	第46回町民300歳バレーボール大会	12/5(日)	湧別総合体育館他	自治会対抗形式9人制バレーボール大会	消耗品28千円 食糧費33千円	
ス ポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会 事 業	【新規】ボルダリング体験教室	5月～6月	中湧別総合体育館	ボルダリングの基礎を学び楽しみ方を味わせるとともに、技法を習得させる。 講師：遠軽高校山岳部監督 畑野 和宏 氏 対象：小学生	講師謝礼 10千円	
	【新規】スラックライン体験教室	5月～6月	中湧別総合体育館	スラックラインの基礎を学び楽しみ方を味わせるとともに、技法を習得させる。 講師：北海道スラックライン代表 山森 和也 氏 対象：小学生～一般	講師謝礼 60千円	
	町民ランニング教室	9月	文化センターTOM・上湧別百年記念広場	基本姿勢から高度な技術、さらには運動前後のストレッチを習得することで、運動能力の向上や怪我の予防、運動を始めるきっかけづくりを図る。 講師：作. AC北海道代表 作田 徹 氏 作. AC北海道 菊地 真司 氏 // 澤井 玄 氏 サポート：北海学園大学陸上部 対象：午前の部：中学生以上対象(初心者、中・上級者) 午後の部：小学1年生～6年生対象	講師謝礼 120千円	9-1 9-2 9-3

令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
スポーツ 教室・ 講習会 事業	ジュニアスイミングスクール	7月	湧別プール (第1回)	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及拡大を図る。	講師謝礼 48千円	9-1 9-2 9-3
		8月	湧別プール (第2回)			
	少年少女初心者スケート教室	R4. 1月予定	芭露スケートリンク	初心者に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。	講師謝礼 12千円	
	クロスカントリースキー教室	R4. 2月予定	五鹿山スキー場	スキーの楽しさを味わわせるとともに、初心者から上級者まで幅広い技法を習得させる。 講師：阿部雅司(リレハンメル五輪金メダリスト)	講師謝礼 60千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	
	健康運動教室	4月～3月	湧別総合体育館	トレーニング器具等を使った個人(または集団や団体)指導を行うことにより町民に健康維持増進と体力の向上を図る。 担当：運動指導職員 原 菜畝	-	
	運動指導	4月～3月	湧別総合体育館他	①湧別総合体育館トレーニングルーム指導 水・金(9:00～11:00) 火・木(14:00～16:00) ※曜日・時間は変更する可能性有 ②個別運動相談・トレーニングメニュー作成 ③保健福祉分野との連携	-	
スポーツ 推進 委員 事業	チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	湧別総合体育館他	低学年から様々なスポーツに触れることで、自分に合ったスポーツを見つけ出すきっかけづくりと、学校を越えた友達づくりの一助とする。 5月 入学式・鬼ごっこ(湧別総合体育館) 6月 フットベース(湧別総合体育館裏) 7月 キャンプ(湧別総合体育館裏) 8月 室内雪合戦(レイクパレス) 9月 パークゴルフ(湧別総合体育館) 10月 風船バレー・ミニバレー(湧別総合体育館) 11月 カローリング・ハッピーボーリング・ベタンク(湧別総合体育館) 12月 フロアボール(湧別総合体育館) 1月 スケート体験・氷上ホッケー(芭露スケートリンク) 2月 タグラグビー(湧別総合体育館) 3月 ミニ運動会・卒業式(湧別総合体育館)	講師謝礼 パークゴルフ 5千円 フロアボール 10千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員 報酬269千円	9-1 9-2 9-3
	巡回スポーツ指導	随時	町内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、軽スポーツやレクリエーションの指導を行う。	スポーツ推進委員 報酬13千円	9-2 9-3
	スポーツ推進委員研修	随時	管内道内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 オホーツク管内社会体育振興セミナー 北海道スポーツ推進委員研究協議会	スポーツ推進委員 報酬122千円 費用弁償98千円	
団体活動の 育成援助等	少年スポーツ団体の育成援助	年間	-	少年団本部への補助	補助金600千円	9-2 9-4
	一般スポーツ団体の育成援助	年間	-	体育協会への補助	補助金735千円	
	大会出場助成	年間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。(湧別町スポーツ・文化遠征費補助金)	補助金2,000千円	
	合宿誘致助成	年間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 (湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金)	補助金1,378千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり	
施設の 整備活用 その他	施設の整備	年間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	施設の活用	年間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 90千円	
	スポーツ安全保険の加入促進	随時	-	広報及び事故手続き等の補助	-	9-2

令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画推進項目
図書館	図書館資料の収集、整理、保存	通年	両館	両館を特徴付けた選書を行い、それぞれに蔵書を区分し保存する。 ・資料等計画的に幅広く豊富に備え、適切な蔵書構成を維持する。	資料費（図書、雑誌、新聞、視聴覚） 8,271千円	7-1
	利用促進、読書機会の提供	通年	両館	調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。		7-2
				新着図書案内や図書館行事など、最新情報の提供に努める。 ・読書通帳提供 ・図書館だより、新着図書案内の発行 ・ホームページの活用		7-2
				来館が困難な町民に対して宅配便を活用して個別に配送貸出を行う。 ・宅配貸出サービス		7-2
	ブックスタート	毎月1回	健診会場	4ヶ月児健診時に、乳児とその保護者へブックスタートバック（絵本などが入ったバック）をメッセージと共に手渡す。また、5歳児健診時には絵本を1冊とブックガイドを渡す。 協力（バック制作） ・ルピナスの会 協力（読み聞かせ） ・リーディング倶楽部たんぽぽ ・湧高ボランティア部	資料費（絵本） 130千円	7-2
	絵本くらぶ	年間 (毎月1回)	両館	3歳までの乳幼児がいる家庭におすすめ本セットを宅配する。（登録制）		7-2
	移動図書館車の運行	通年	両館	移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。機動性を活かし遠隔地域を中心に据え、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 図書館職員が選本した文庫を配本する。 ・各小中学校、義務教育学校、湧別高校 ・各郵便局 ・児童施設 ・高齢者施設等		7-3
学校図書館支援	通年	町内学校	・クラス配本 ・学校図書館用図書の購入支援 ・学校図書館レイアウト相談 ・学校図書館蔵書管理、蔵書計画 ・図書館見学の受入 ・職場体験の受入 ・読書オリエンテーション ・家読おすすめ絵本リスト作成配布		7-4	
映画上映会	年2回	湧別図書館	湧別図書館の多目的室を活かし映画会を行う。	消耗品 50千円 (DVD)	7-2 7-3	

令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
図書館	古本コーナー	通年	両館	古本、古雑誌のリサイクル活動。		7-2 7-3
	特別展示	9月～10月	両館	町民大学講師著作展示		7-2 7-3
		年間	両館	テーマ：年中行事		
		4/23～ 5/10	両館	子ども読書週間		
		10/27～ 12/5	両館	読書週間		
		7/2～ 7/13	中湧別 図書館	絵本原画展示「たぬぎの花よめ道中」	著作物使用料 30千円	
年間	両館	協力展示（展示スペースの貸出）	—			
活動	連携・ネットワーク	通年	両館	ボランティア、サークル育成 ・読み聞かせ活動支援（りんごっこ、リーディング倶楽部たんぼぼ、湧別高校ボランティア部） ・読書推進活動支援「オープンブックカフェ」		7-4
		年3回	児童センター	児童センター事業支援 ・読み聞かせ会参加協力、読書推進事業の実施		
		会議3回 研修2回	湧別 図書館	図書館協議会 ・定例会議 ・委員視察研修 (遠紋ブロック研修会:紋別市) (オホーツク管内公共図書館協議会:端野)		
		7月～9月	両館	・北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応援しよう」キャンペーン参加		

令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画推進項目
文化財保護活動	文化財の保護① 埋蔵文化財	年間	町内各所	<ul style="list-style-type: none"> ○発行行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 <ul style="list-style-type: none"> ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・現状確認作業（遺跡パトロール） ・周知資料（台帳等）の整備 ◎シブノツナイ竪穴住居跡の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査：竪穴住居跡の年代等内容確認 ＊7月中旬～8月中旬予定 ・発掘調査概要報告書の刊行 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催 		8-1
	文化財の保護② 自然関連	年間	町内各所	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続（死亡・はく製・調査） <ul style="list-style-type: none"> ・オジロワシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整 		8-1
博物館活動	博物館資料① 収集	年間	郷土館・ ふるさと館JRY	<ul style="list-style-type: none"> 【開拓関連資料】 ○資料寄贈への対応 【考古資料】 ○発掘調査に伴う出土資料の文化財認定と譲与申請 		8-1
	博物館資料② 整理・保管	年間	郷土館・ ふるさと館JRY ・収蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> ○考古資料 <ul style="list-style-type: none"> ・三宅コレクションの整理 ・シブノツナイ 竪穴住居群出土資料の整理 ○開拓関連資料 <ul style="list-style-type: none"> ・保存環境の整備 ○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 <ul style="list-style-type: none"> ・金属資料の清掃整理（防さび塗料塗布） ・ガラスネガの写真の清掃整理 ・資料外保管物の処分 ・JRY収蔵量増加 ・資料移動（旧芭小体育館） ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務 		8-1
	調査研究	年間	—	<ul style="list-style-type: none"> 【博物館資料（開拓期）の保存・活用】 ○保存 <ul style="list-style-type: none"> ◎屯田資料 ○活用 <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の系統化 ・開拓期の衣食住 ・冬期の生活 【埋蔵文化財の保存・活用、博物館教育】 ○保存 <ul style="list-style-type: none"> （主にシブノツナイ竪穴住居群） ・竪穴住居跡の年代と集落形成に関する研究 ・北海道考古学会 研究大会発表（5月） ○活用 <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究 		8-1
	展示	年間	郷土館 ふるさと館JRY	<ul style="list-style-type: none"> ○収蔵資料の展示 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の発掘調査成果展（仮） ○郷土館協力員（旧ボランティアガイド） ・展示解説（7月～8月、団体見学日など） ○常設展示更新 <ul style="list-style-type: none"> ・解説パネルの追加 ・資料名表示の更新 ・地学資料の整理展示 ○収蔵展示室整備 		8-2
						8-2

令和3年度社会教育事業計画

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画推進項目
博物館活動	博物館教育① 学校授業・研修会・講座	年間	郷土館・ふるさと館JRY	【学校授業・研修会・講座】 ○開拓の歴史 （博物館が持つ過去の生活情報の内、日常生活に活用できるものを体験学習として実施） ・労働体験（鋸・斧・鉈） ・炊飯体験（薪ストーブ・羽釜） ・開拓期の衣体験 ・囲炉裏疑似体験（屯田生活体験館） ○博物館親子講座 ○先史文化 （地域の財産である遺跡に触れ、親しむ機会の提供） ・先史の工夫を体験するモノづくり学習（土器・勾玉） ・遺跡に親しむフィールドワーク ・遺跡の知識を深める考古学関連講座 発掘調査報告会 ⇒11月予定 ＊調査成果に応じて実施を判断する ・発掘調査現地説明会の開催（主に学校を対象） ・大学と発掘調査を通じた連携		8-3
	博物館教育② 広報・情報提供	年間	—	【広報・情報提供】 ○博物館だよりの発行（湧く湧く内、HP） ○郷土史に関する情報提供及び質問対応（レファレンス）		8-3

中期計画推進項目の欄は、第2次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第1節 家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第2節 少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
	連携ネットワーク	2-4
⋮	⋮	⋮
第10節 生涯学習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

令和3年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
青少年指導センター 事業	子ども会フットベースボール大会（仮）	7/11 （日）	中湧別小学校	単位子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、育成会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	
	子ども会交通安全駅伝競走大会（仮）	8/29 （日）	開盛小 → 中湧別小		
	子ども会ミニバレーボール大会（仮）	11/21 （日）	中湧別総合体育館 湧別総合体育館		
	子ども会リーダー研修会（仮）	7/28（水） ～29（木） 3/29（火） ～30（水）	五鹿山公園 紋別生涯学習センター	社会教育事業 少年教育参照	
	中高生リーダーの養成	年間	ふるさと館JRYほか	リーダー研修会の企画運営などを行う、中・高生リーダークラブ「E=QVL（イクアル）」および「Rainbow prop（レインボープロップ）」と、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。	
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。①あいさつ運動②指導、補導③青少年だより発行④優良青少年表彰	
文化連盟	総合文化祭	芸能の部 10月30日 展示の部 10月16日 17日	文化センターさざ波 文化センターTOM	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。	
良いもの見よう聞こう会	芸術鑑賞会	通年	各文化センター	日時未定 ミッフィーこどもミュージカル 9月17日(金) TOM 清水ミチコトーク&ライブ2021	
ビッグ・ウェーブ	芸術鑑賞会	通年	各文化センター	未定	

令和3年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	備考
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2021	5/9 (日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	教委、スポーツ推進委員も運営協力
実	チャレンジ・スポーツデー2021	5/26 (水)	町内	住民総参加型のスポーツイベントである「チャレンジデー」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	
行	札幌合気会合宿	9月	レイクパレス	町内で合宿を行い、公開練習等を通して町民と交流を図るとともに合気道の普及を図る。 合宿予定人員：30名予定	
委	日本大学合気道部合宿	10月	レイクパレス	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：30名予定	
員	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：80名（指導者含む）予定	
会	湧別原野林ツクノカントリースキー大会	R4. 2/27	遠軽町 →湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km	

令和3年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	備考
芭露畜産研修センター	屋上部分防水工事	3,500	
文化センターさざ波	建物塗装工事（さざ波北面 全5期中4期目）	7,300	
	ギャラリー内装修繕	500	
文化センターTOM	区画線補修工事（北側）	800	
湧別総合体育館	トレーニング機器借上（5年リース） トレッドミル、アップライトバイク インパクトチェストプレス インパクトラットプルダウン インスティンクトペクトラルフライ/リアデルト インスティンクトレックプレス/カーフ インスティンクトレックエクステンション/カーフ 各1台（合計7台）	1,298	12ヶ月分
中湧別総合体育館	重油タンク改修工事	4,300	
中湧別野球場	バックネット等改修工事	10,500	
湧別屋内ゲートボール場	人工芝張替工事	16,000	
湧別運動公園	トイレ改修工事	1,280	
五鹿山PG場	乗用型芝刈り機の購入	3,000	
ふるさと館JRY	エントランス水銀灯	644	
	JRY屋根修繕（ガラスブロック防水）	2,415	

社会教育委員

任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日

役職	氏名	職業・主な所属等	住所	備考
	梅田 唯士	ふるさとから学ぶ会	上湧別屯田市街地	
	深谷 聡	僧侶・町民芝居	計呂地	
	平野 寿雄	農業・青少年指導センター	上湧別屯田市街地	
	安瀬 勇	上湧別郵便局長・ふるさとから学ぶ会	上湧別屯田市街地	
	武藤 智和	開盛郵便局長	開盛	
	杉原 武純	農業・PTA	旭	
	村田 一平	湧別高等学校長	中湧別南町	
	山本 重幸	団体職員アウトドアクラブ会員	錦町	
	毛利 美紀子	自営業	中湧別北町	
	渡辺 香織	体操指導士	中湧別南町	
	鈴木 由美子	自営業商工会女性部	栄町	
	工藤 雄希峰	漁業・青少年指導センター	登栄床	
	三橋 裕介	商工会	中湧別南町	
	菅 濟	富美小学校長	富美	

図書館協議会委員

任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日

役職	氏名	職業・主な所属等	住所	備考
	内野 静香	国際交流推進委員	港町	
	菊地 京子	学校支援員・リーグ倶楽部たんぼぼ	錦町	
	野田 直人	団体職員・青少年指導センター	上湧別屯田市街地	
	菊地 得典	僧侶	上芭露	
	藤井 清美	商工会女性部	中湧別北町	
	菅 濟	富美小学校長	富美	

スポーツ推進委員

任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日

役職	氏名	職業・主な所属等	住所	備考
委員長	石川 克己	団体職員	錦町	
副委員長	小橋 百合香	学校教員	中湧別南町	
	鈴木 義広		中湧別北町	
	黒田 志津保	団体職員	中湧別中町	
	水牧 一郎	会社員	中湧別南町	
	白田 ゆかり	団体職員	栄町	
	木村 栄	漁業	芭露	
	峯田 ゆかり	団体職員	上湧別屯田市街地	
	海谷 政貴	団体職員	中湧別北町	
	岸下 彩乃	学校教員	中湧別南町	
	近江 諒太	学校教員	開盛	
	岸 貴元	会社員	中湧別中町	

○教育委員会社会教育関係職員

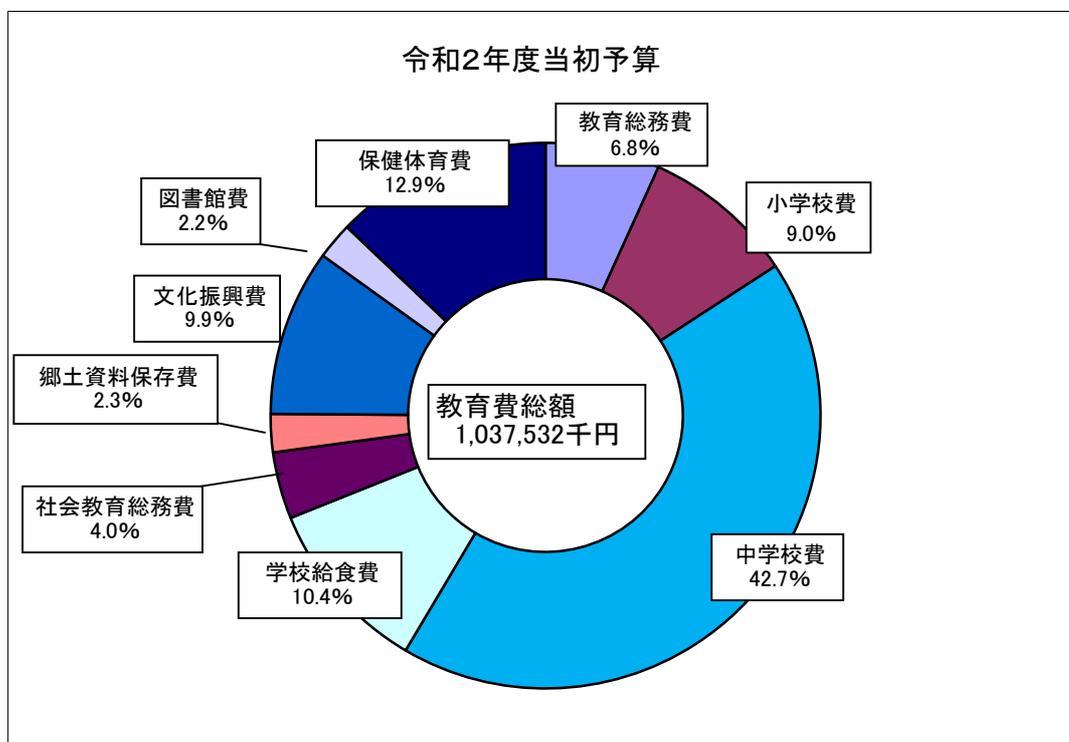
教 育 長
阿 部 勉

課 長	課長補佐・主幹 (グループリーダー)	主 査	主 任 等
坂本 雄仁	社会教育G 藤本 祐司	渡辺 武文 (社会教育担当) 土佐 信太郎 (文化振興担当)	鈴木 健太 (社会教育・文化振興担当) 原 茉畝(社会教育担当) 《絹張 洋史》
参事 中島 一之	図書館 (中島 一之) (館長)	高橋 結香梨 (湧別図書館) 北村 公樹 (中湧別図書館)	
	ふるさと館JRY 郷土館 (中島 一之) (館長)		主任 林 勇介 《小山 義幸》

Gはグループ、()は兼務職員、《 》は再任用職員

教 育 予 算

一般会計当初予算 8,914,000千円（前年度： 8,408,000千円）
 に対する
 教育費割合 11.64%（前年度：12.21%）
 社会教育費割合 3.62%（前年度：7.41%）



教育費
 住民一人当たり 123,310 円

社会教育費
 住民一人当たり 38,374 円

（R3.3月末現在 8,414 人）

関係団体補助金

補助金交付団体	補助金(単位:千円)		構成団体数
	令和3年度	令和2年度	
青少年指導センター	250	400	22
青年団体協議会	160	160	—
P T A 連 合 会	180	180	8
文 化 連 盟	350	350	25
体 育 協 会	735	735	18
ス ポ ー ツ 少 年 団	600	600	10

教育費内訳

(予算額単位:千円)

科	目	予算額	割合(%)	予算額計	割合(%)
教育総務費 (総務費)	教育委員会費	2,035	0.2	70,038	6.8
	事務局費	63,736	6.1		
	国際交流費	4,267	0.4		
小学校費	学校管理費	62,265	6.0	93,534	9.0
	教育振興費	31,269	3.0		
中学校費	学校管理費	422,543	40.7	443,417	42.7
	教育振興費	20,874	2.0		
学校給食費	学校給食費	107,666	10.4	107,666	10.4
小計		714,655	68.9	714,655	68.9
社会教育費 (民生費)	社会教育総務費	40,739	3.9	41,102	4.0
	児童福祉総務費	363	0.0		
	郷土資料保存費	23,423	2.3	23,423	2.3
	文化振興費	102,520	9.9	102,520	9.9
	図書館費	22,463	2.2	22,463	2.2
保健体育費	保健体育総務費	13,129	1.3	133,369	12.9
	体育施設費	120,240	11.6		
小計		322,877	31.1	322,877	31.1
教育費総額		1,037,532	100.0	1,037,532	100.0

※割合は端数調整により合計が合わない場合があります。

社会教育施設一覧表

区分	施設名	住所	開館日・開館時間等	電話番号	備考
教育文化 関連施設	文化センターTOM	中湧別中町3020番地の1	火～日：9:00～22:00 月：9:00～17:00	2-2188	大ホール移動席382席、最大750席
	文化センターさざ波	栄町219番地の1		5-3189	大ホール固定席422席
	上湧別農村環境改善センター	上湧別屯田市街地67番地の8	月・火：13:30～21:30 水～金：9:00～21:30 土・日・祝：9:00～17:00	2-4506	
	芭露畜産研修センター	芭露248番地の5	月・木・土・日・祝： 9:00～18:00 火・水・金：13:00～22:00	6-2353	
	ふるさと館JRY	北兵村一区588番地	火～日：9:00～16:30 月：休館	2-3000	屯田兵を中心とした郷土資料の展示
	郷土館	栄町155番地の1		5-2229	郷土資料の展示
	中湧別図書館（文化センターTOM内）	中湧別中町3020番地の1	火～日：10:00～18:00 月・図書整理日：休館	2-3150	
	湧別図書館	栄町219番地の1		5-3122	
体育関連 施設	中湧別総合体育館	中湧別南町905番地の2	月：14:00～22:00 火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00	2-4186	
	湧別総合体育館	栄町155番地の1	火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00 月：休館	5-2229	
	武道館	栄町155番地の1			
	上湧別農村センター多目的ホール	上湧別屯田市街地67番地の8	月・火：13:30～21:30 水～金：9:00～21:30 土・日・祝：9:00～17:00	2-4506	
	芭露ファミリースポーツセンター	芭露248番地の5	月・木・土・日・祝： 9:00～18:00 火・水・金：13:00～22:00	6-2353	
	湧別プール	栄町155番地の1	火～土：10:00～21:00 日・祝：10:00～17:00 月：休館 利用期間 5月～10月	5-2229	
	中湧別野球場（夜間照明付）	中湧別南町905番地	9:00～21:30 利用期間 5月～10月	2-4186	
	湧別運動公園（夜間照明付野球場・テニスコート、多目的広場）	東37番地の1	9:00～22:00 利用期間 5月～10月	5-3189	問い合わせ：文化センターさざ波
	上湧別ソフトボール場（夜間照明付）	上湧別屯田市街地68番地	9:00～21:30 利用期間 5月～10月	2-4506	
	中湧別ゲートボール場	中湧別東町3019番地の1	月：9:00～17:00 火～日：9:00～22:00 利用期間 屋内：通年 屋外：5月～10月	2-2188	問い合わせ：文化センターTOM
	湧別屋内ゲートボール場	栄町155番地の6	火～土：9:00～22:00 日・祝：9:00～17:00 月：休館	5-2229	問い合わせ：湧別総合体育館
	五鹿山パークゴルフ場	北兵村二区100番地	8:00～17:00 利用期間 5月～10月	2-3111	54ホール
	芭露パークゴルフ場	芭露2334番地の16	9:00～17:00 利用期間 5月～10月	6-2138	18ホール 問い合わせ：芭露ファミリースポーツセンター
	五鹿山スキー場	北兵村二区100番地	10:00～21:00 利用期間 1月～3月	2-3111	
芭露スケートリンク	芭露882番地	9:00～21:00 利用期間 12月下旬～2月	5-3132	問い合わせ：社会教育課	

湧く湧く「社会教育委員のある一日」記事寄稿の順番について
令和3年度予定

※原稿締切日の1カ月前くらい前に依頼文書を送付いたします。

社会教育委員	スポーツ推進委員	図書館協議会委員	平成31年度計画	原稿締切日
	峯田ゆかり		H31年 4月号	3月下旬
多田恵美子			5月号	4月下旬
佐藤あけみ			6月号	5月下旬
	木村		7月号	6月下旬
三品博恵			8月号	7月下旬
安瀬 勇			9月号	8月下旬
	吉本		10月号	9月下旬
武藤智和			11月号	10月下旬
杉原武純			12月号	11月下旬
		藤井清美	R2年 1月号	12月下旬
信本武彦			R2年 2月号	1月下旬
米本智昭	岸		R2年 3月号	2月下旬
木幡かおる	岸		R2年 4月号	3月下旬
宮澤 道			R2年 5月号	4月下旬
石垣誠一（中止）			R2年 6月号	5月下旬
石垣 誠一			R2年 7月号	6月下旬
	石川 克己		R2年 8月号	7月下旬
梅田 唯士			R2年 9月号	8月下旬
	近江 諒太		R2年 10月号	9月下旬
寺嶋 誠也			R2年 11月号	10月下旬
深谷 聡			R2年 12月号	11月下旬
		菊池 京子	R3年 1月号	12月下旬
多田 恵美子			R3年 2月号	1月下旬
平野 寿雄			R3年 3月号	2月下旬
	なし		R3年 4月号	3月下旬
	小橋 百合香		R3年 5月号	4月下旬
安瀬 勇			R3年 6月号	5月下旬
	水牧 一郎		R3年 7月号	6月下旬
武藤 智和			R3年 8月号	7月下旬
			R3年 9月号	8月下旬
	鈴木 義広		R3年 10月号	9月下旬
杉原 武純			R3年 11月号	10月下旬
	黒田 志津保		R3年 12月号	11月下旬
村田 一平			R4年 1月号	12月下旬
			R4年 2月号	1月下旬
	白田 ゆかり		R4年 3月号	2月下旬

その他 社会教育委員各種研修会の実績及び予定について

令和3年度各種研修会等の予定について

研修会等	月日	会場	内容	期待人数
遠紋地区社会教育委員研修会	未定	佐呂間町	遠紋地区委員対象の研修会	4名
管内社会教育振興セミナー	未定	小清水町	管内の委員対象の研修会	4名
北海道社会教育研究大会	10/7-8 木-金	函館市	全道の委員対象の研修会	2名
地域生涯学習活動実践 交流セミナー	2月	札幌市	全道の職員中心の研修会 講演、優良事例発表、分科会	1名
北海道市町村社会教育 委員長等研修会	7月上旬	札幌市	各市町村委員長等対象の研修会	2名

令和2年度実績			令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	備考
月日	会場	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	
10/18 日	雄武町	2名	3名	5名	12名	5名	4名	3名	令和5年度湧別主管開催
11/15 日	置戸町	中止	4名	5名	3名	2名	4名	4名	令和9年度湧別主管開催
10/8-9 木-金	函館市	中止	1名	3名	4名	2名	2名	1名	平成29年度は全国大会を兼ねた
2/13-14 木-金	札幌市	中止	1名	1名	1名	2名	1名	1名	令和2年度は職員対象としたオンライン開催
7/8-9 月-火	札幌市	中止	1名 委員長	2名 委員長 副委員長	/	2名 委員長 副委員長	2名 委員長 副委員長	1名 委員長	

会議	月日	会場	内容	出席
社会教育委員会議（定例会）	4月、10月 12月、3月	町内	事業計画策定、事業評価など	全員
管内社会教育委員連絡協議会	5月中旬	網走市	総会	委員長
（道社会教育委員連絡協議会）	—	—	（予定なし）	
中期計画策定会議 部会	—	—	（予定なし）	

月日	会場	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	出席者	出席数	備考
6/18木 10/20火 12/23水 3/18木	さざ波	10名 10名 8名	6名 5名 8名 書面	11名 12名 13名 12名	12名 14名 13名 13名	9名 10名 9名 11名 11名	12名 10名 13名 14名	10名 8名 6名 9名		
5/11月	網走市	書面協議	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	
—	—	/	/	/	/	/	/	1名		
/	/	/	/	/	延べ 62名	/	/	/		